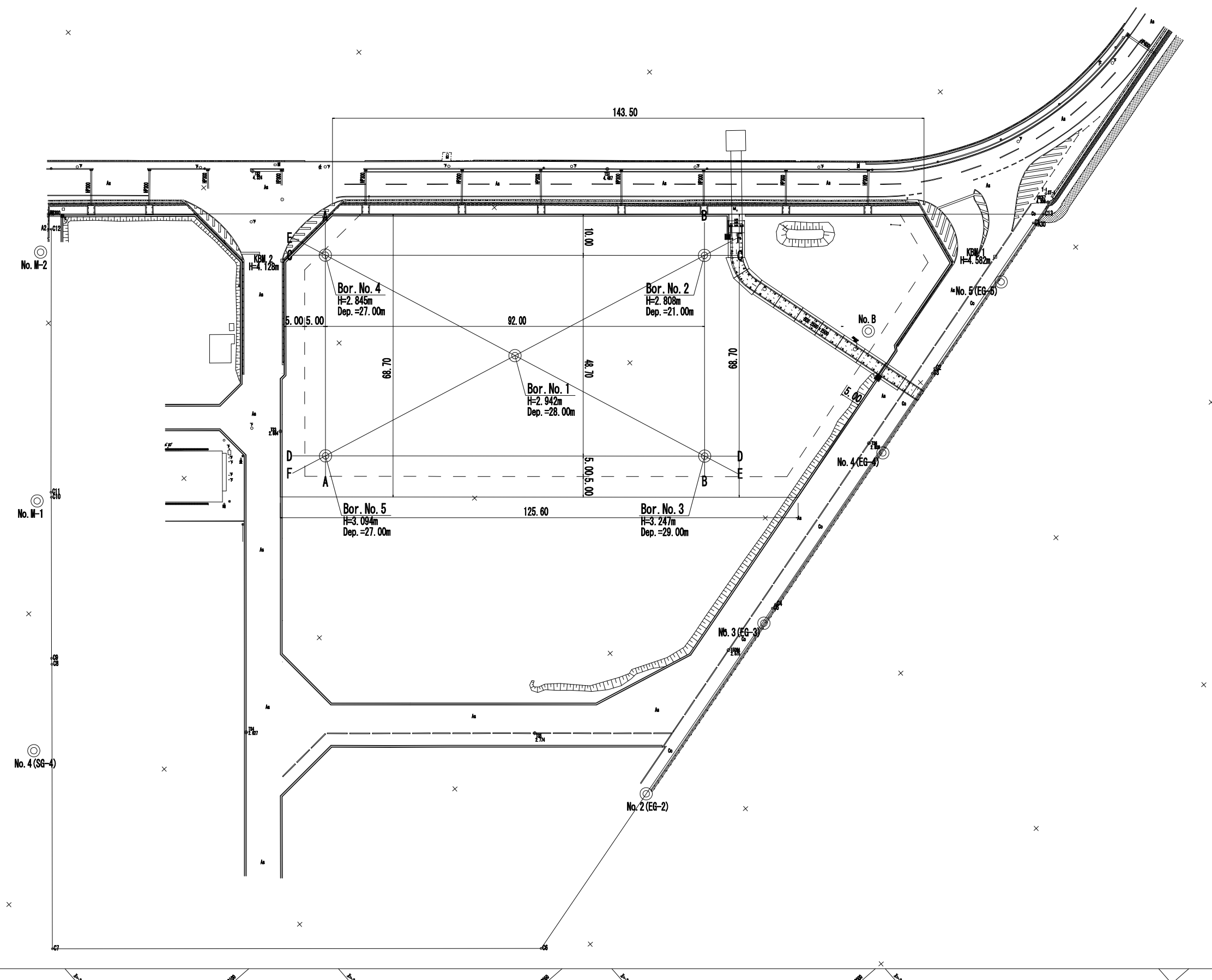


ボーリング位置図

S=1:1000



凡例

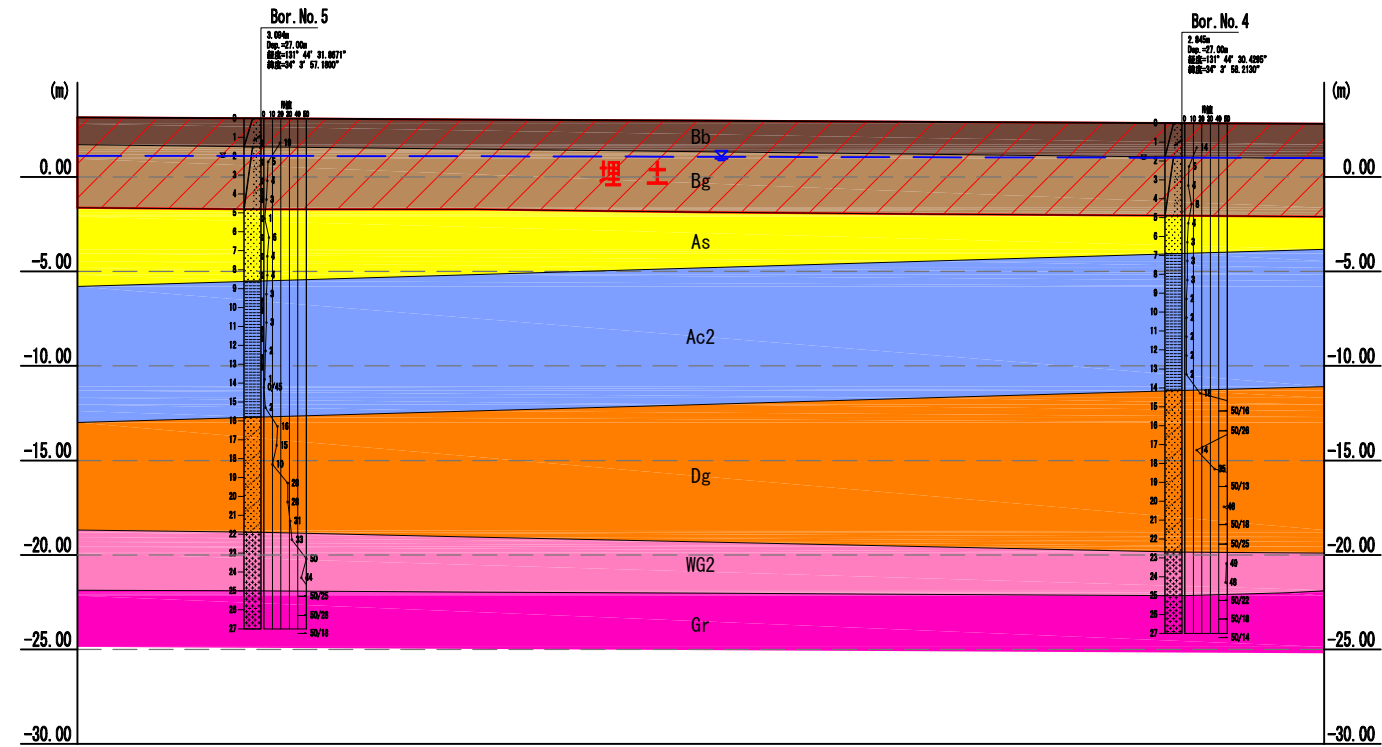
○	ボーリング地点(今回)
○	ボーリング地点(H6調査)
—	想定地質断面方向

業務名	(仮称)西部地区学校給食センター 地質調査業務委託		
図面名	ボーリング位置図		
作成年月日	平成28年10月 日		
縮尺	S=1:1000	図面番号	1/4
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	周南市役所 建設部 建築課		

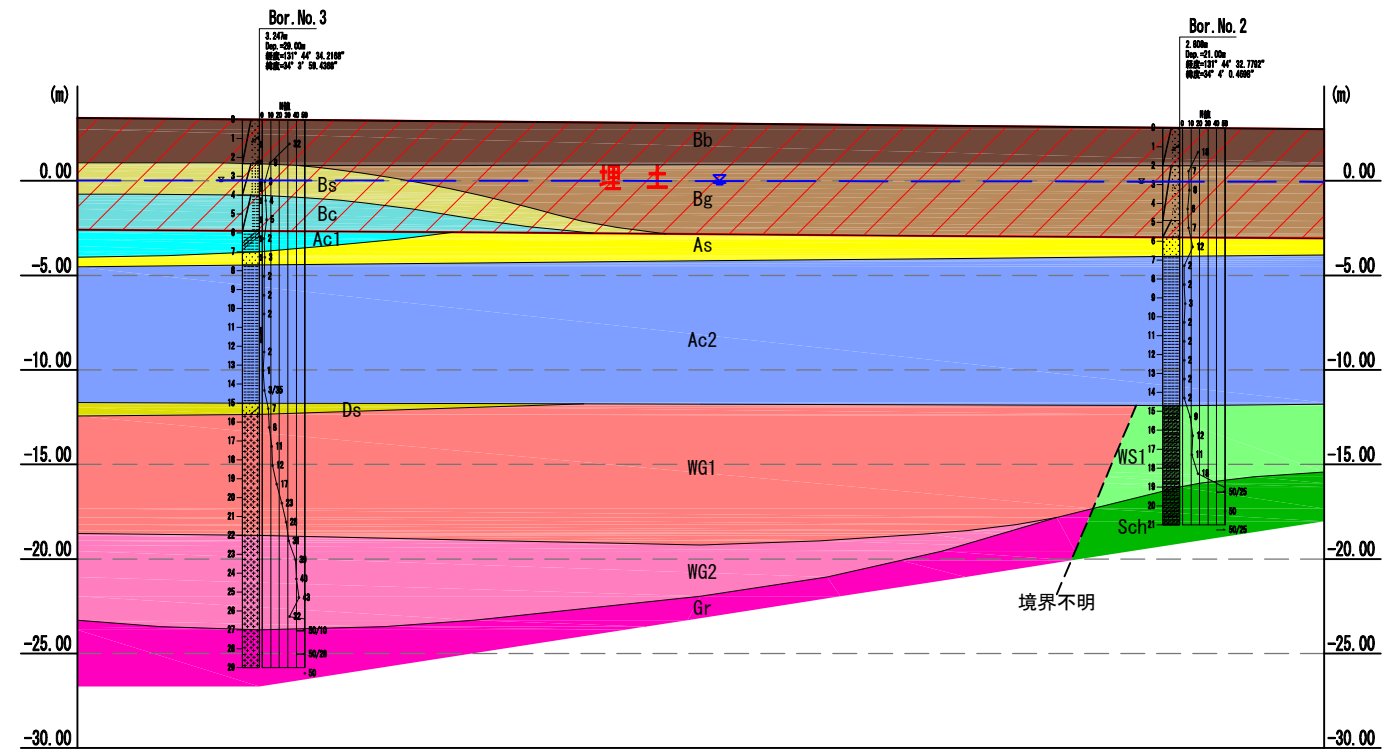
想定地質断面図(1)

S=1:400

A断面



B断面



凡例

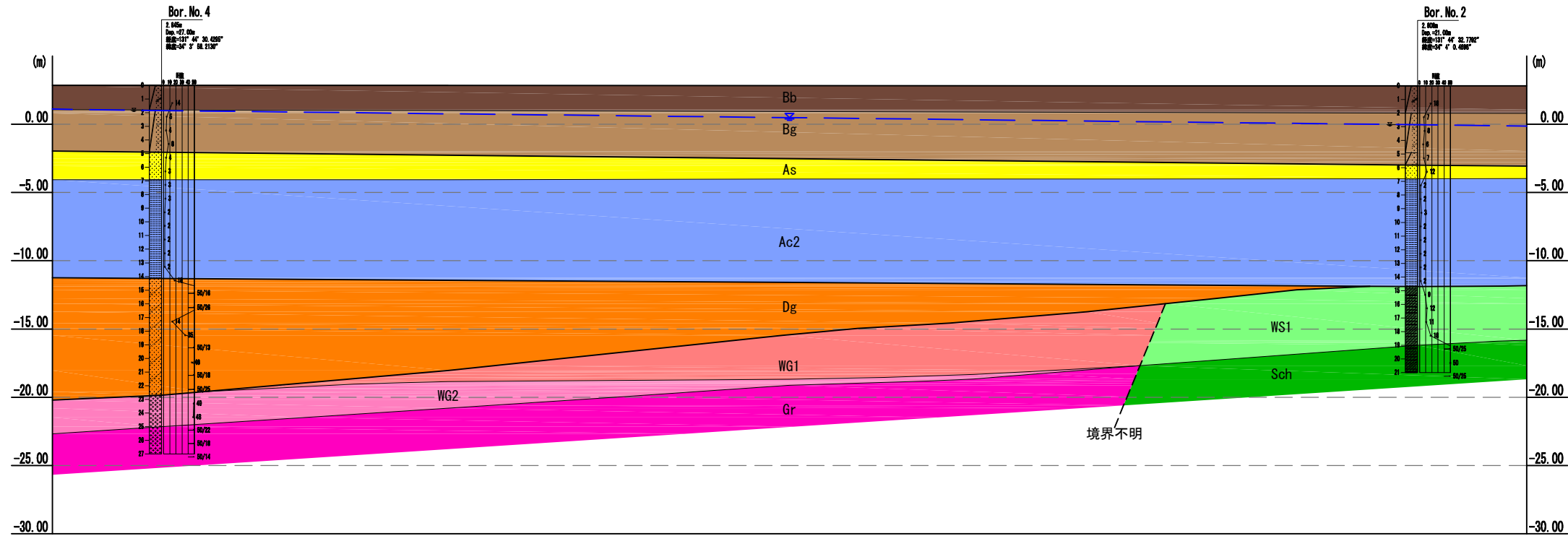
地層	記号	土質・岩質	N値 (平均)
埋土	玉石層	砂質土及びφ30~75mmの礫からなる。 φ100~300mm程度の捨石が多く混入する。	9~32 (16)
	礫質土層	中~粗砂及びφ2~50mmの礫からなる。 貝殻片及び石灰がら混入する。	2~8 (5)
	砂質土層	シルト混じり砂からなる。	3
	粘性土層	主に砂質シルトからなる。木片及び貝殻片が混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	4~5 (5)
	第1粘性土層	シルト~細砂からなる。	2
沖積層	砂質土層	細~中砂からなる。シルト分及び細礫が僅かに混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	1~12 (5)
	第2粘性土層	比較的均質な粘性土からなる。 所々腐植物及び貝殻片が混入する。	0~3 (2)
洪積層	砂質土層	砂は、粒径不均一。部分的に、粘土分を多く含む。	7
	礫質土層	礫はφ2mm~φ20mmを主体とし、大半は腐礫化。 砂は粒径不均一。所々に粘土分を含む。	10~115 (36)
花崗岩	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。	8~28 (19)
	風化土	風化作用を受け、砂~礫状を呈す。 岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。	31~50 (41)
	風化岩	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	50~150 (79)
	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は、やや不明瞭である。	9~18 (13)
片岩	風化岩	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	50~60 (57)

業務名	(仮称)西部地区学校給食センター 地質調査業務委託		
図面名	想定地質断面図(1) A, B断面		
作成年月日	平成28年10月 日		
縮尺	S=1:400	図面番号	2/4
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	周南市役所 建設部 建築課		

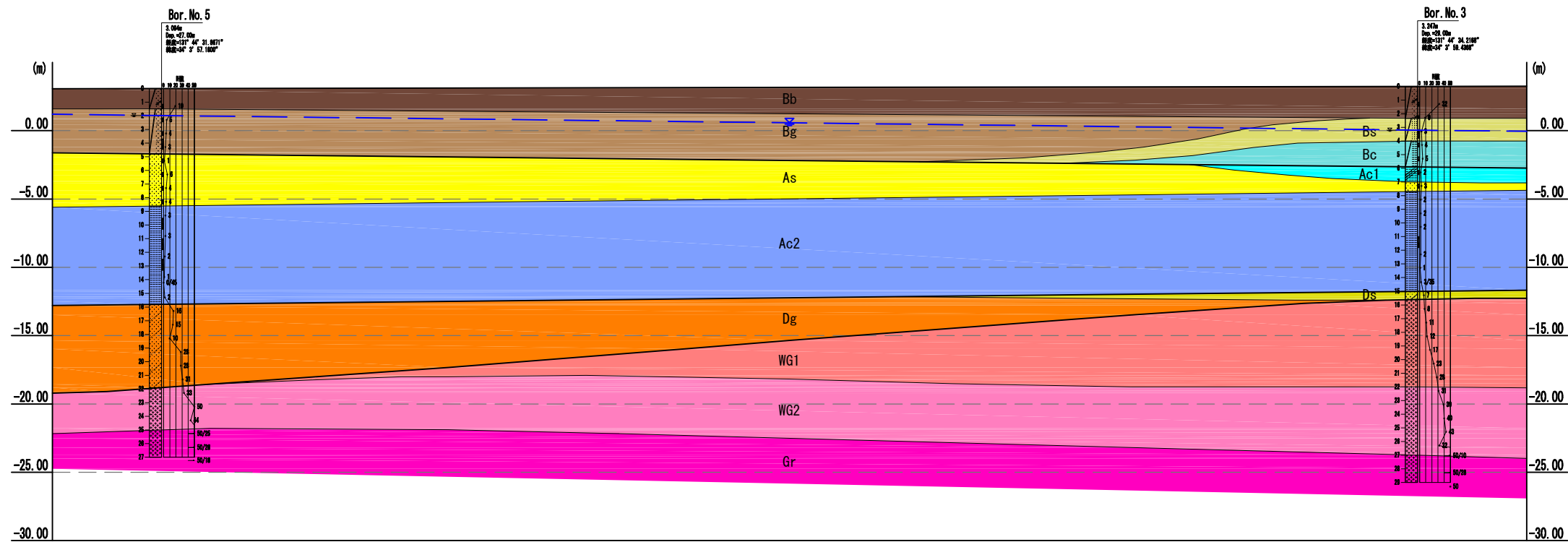
想定地質断面図(2)

S=1:400

C断面



D断面

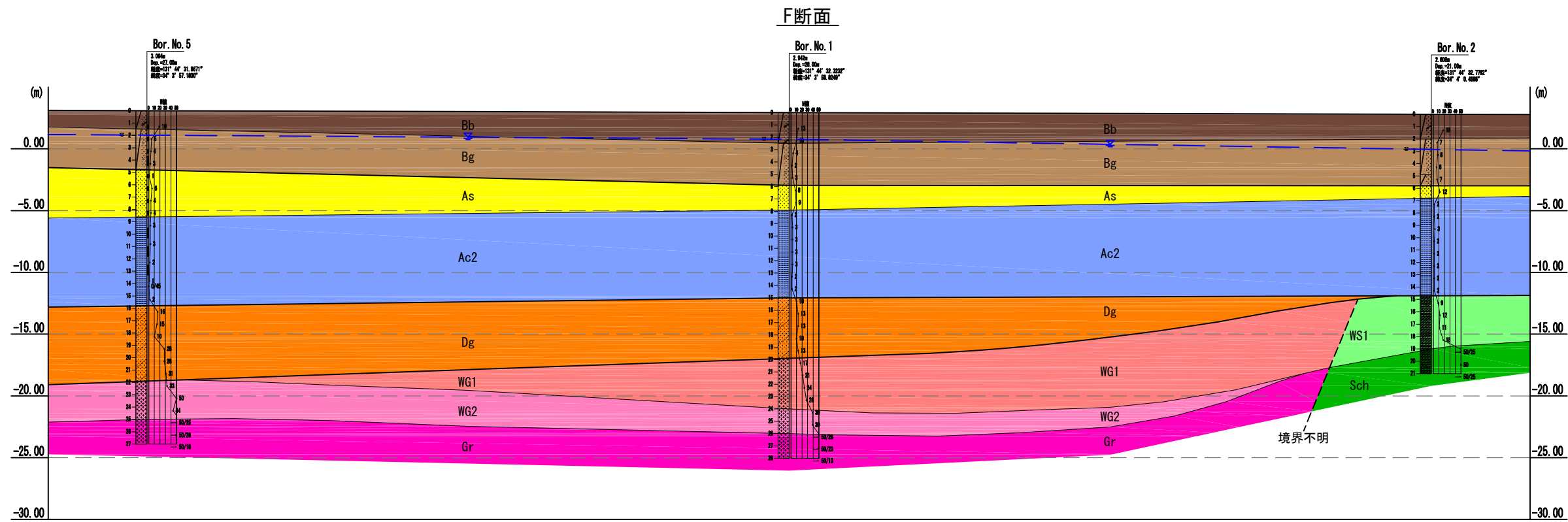
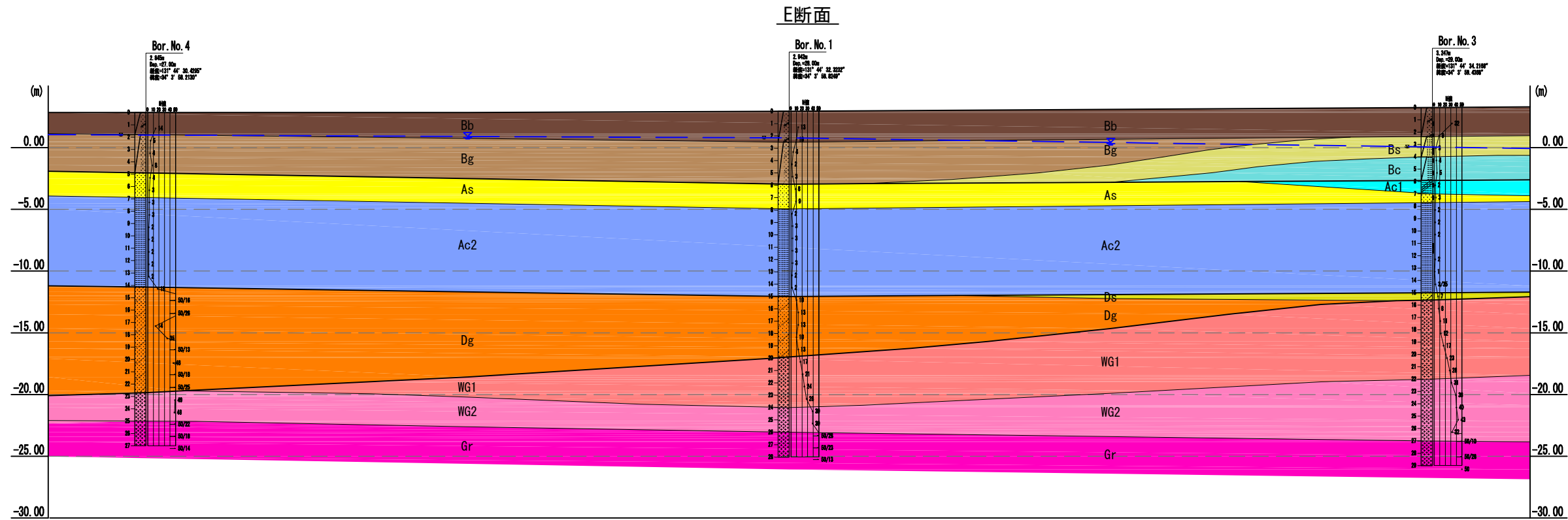


凡 例			
地 層	記号	土質・岩質	N値 (平均)
埋 土	玉石層	砂質土及びφ30~75mmの礫からなる。 φ100~300mm程度の捨石が多く混入する。	9~32 (16)
	礫質土層	中~粗砂及びφ2~50mmの礫からなる。 貝殻片及び石灰ガラが混入する。	2~8 (5)
	砂質土層	シルト混じり砂からなる。	3
	粘性土層	主に砂質シルトからなる。木片及び貝殻片が混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	4~5 (5)
	第1粘性土層	シルト~細砂からなる。	2
沖積層	砂質土層	細~中砂からなる。シルト分及び細礫が僅かに混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	1~12 (5)
	第2粘性土層	比較的均質な粘性土からなる。	0~3 (2)
	砂質土層	砂は、粒径不均一、部分的に、粘土分を多く含む。	7
洪積層	礫質土層	礫はφ2mm~φ20mmを主体とし、大半は腐礫化。 砂は粒径不均一、所々に粘土分を含む。	10~115 (36)
	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。	8~28 (19)
花崗岩	風化土	風化作用を受け、砂~礫状を呈す。	31~50 (41)
	風化岩	岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。 風化作用を受けるが、やや硬い。	50~150 (79)
	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は、やや不明瞭である。	9~18 (13)
片 岩	強風化土	風化作用を受けるが、やや硬い。	50~60 (57)
	風化岩	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	

業務名	(仮称)西部地区学校給食センター 地質調査業務委託		
図面名	想定地質断面図(2) C, D断面		
作成年月日	平成28年10月 日		
縮 尺	S=1:400	図面番号	3/4
会 社 名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	周南市役所 建設部 建築課		

想定地質断面図(3)

S=1:400



凡 例			
地 層	記号	土質・岩質	N値 (平均)
埋 土	玉石層	砂質土及びφ30~75mmの礫からなる。 φ100~300mm程度の捨石が多く混入する。	9~32 (16)
	礫質土層	中~粗砂及びφ2~50mmの礫からなる。 貝殻片及び石灰ガラが混入する。	2~8 (5)
	砂質土層	シルト混じり砂からなる。	3
	粘性土層	主に砂質シルトからなる。木片及び貝殻片が混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	4~5 (5)
沖積層	第1粘性土層	シルト~細砂からなる。	2
	砂質土層	細~中砂からなる。シルト分及び細礫が僅かに混入する。 若干、φ2mm~φ50mm程度の礫が混入する。	1~12 (5)
	第2粘性土層	比較的均質な粘性土からなる。	0~3 (2)
洪積層	砂質土層	砂は、粒径不均一、部分的に、粘土分を多く含む。	7
	礫質土層	礫はφ2mm~φ20mmを主体とし、大半は腐礫化。 砂は粒径不均一、所々に粘土分を含む。	10~115 (36)
花崗岩	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。	8~28 (19)
	風化土	風化作用を受け、砂~礫状を呈す。 岩盤組織は明瞭であるが、岩芯は殆ど残存しない。	31~50 (41)
	風化岩	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	50~150 (79)
	強風化土	風化作用を強く受け、砂質土状を呈す。 岩盤組織は、やや不明瞭である。	9~18 (13)
片 岩	強風化土	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	50~60 (57)
	風化岩	風化作用を受けるが、やや硬い。 岩芯が若干残存するが、容易に砕ける。	

業務名	(仮称)西部地区学校給食センター 地質調査業務委託		
図面名	想定地質断面図(3) E,F断面		
作成年月日	平成28年10月 日		
縮 尺	S=1:400	図面番号	4/4
会 社 名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	周南市役所 建設部 建築課		